

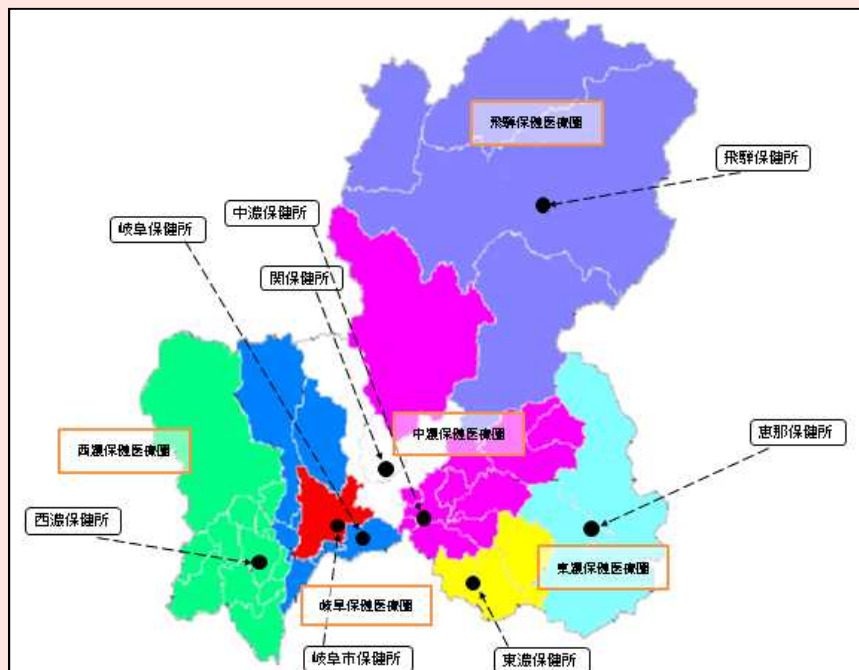
岐阜県

保健所を中心とした 精神障がい者の自立支援の取組

岐阜県では地域特性を生かすために保健所を主体とした精神障がい者の地域生活支援事業を行っており、地域生活支援センターや医療機関との協働により、ピアサポーターの活用に積極的に取り組んでいます。

1 県又は政令市の基礎情報

岐阜県



取組内容

【人材育成の取り組み】

- ・精神障がい者が、地域生活支援センターの職員とともに病院を訪問し、入院患者と交流をはかることでピアサポーターの育成の一旦を担っている。

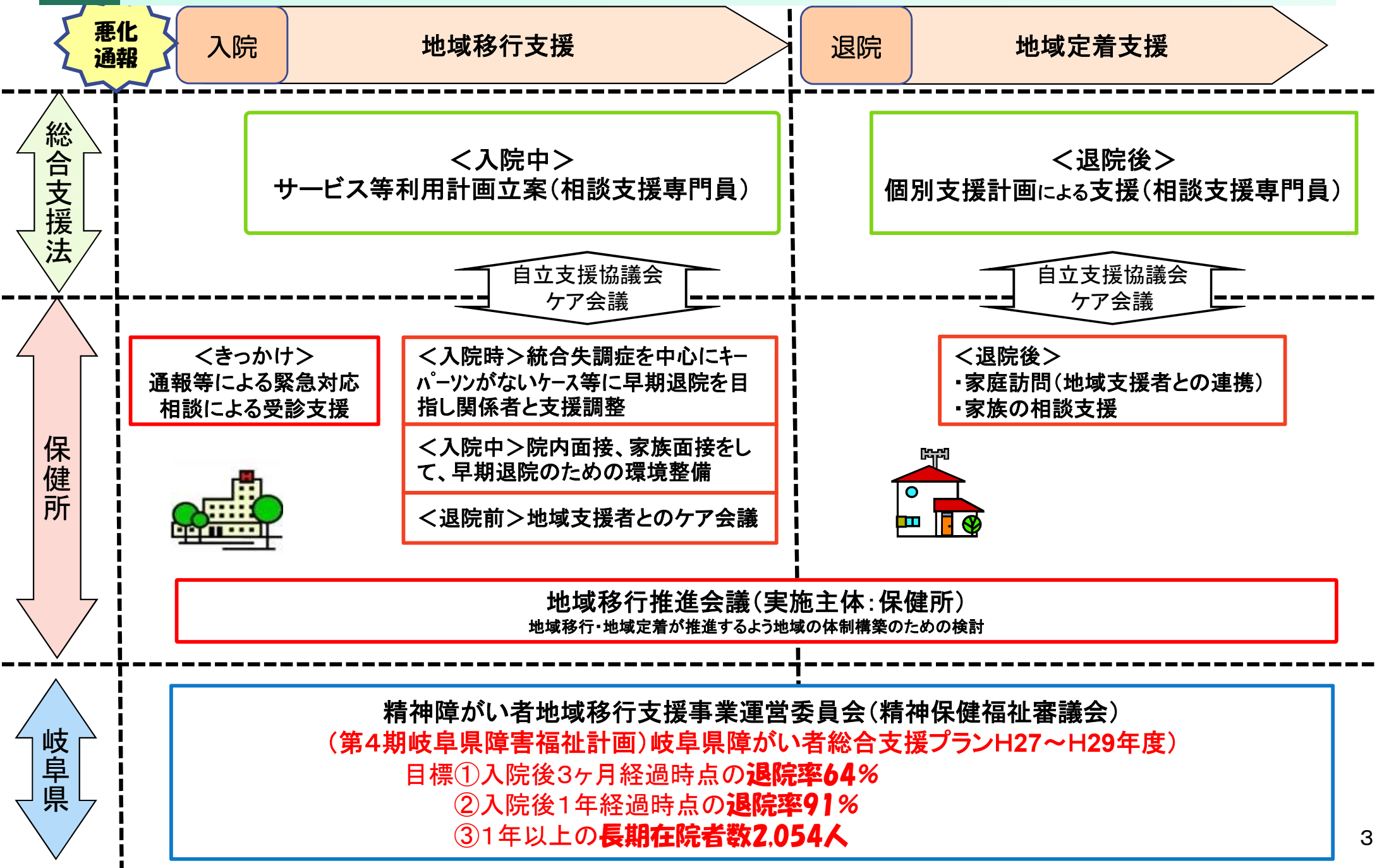
【精神障害者の地域移行の取り組み】

- ①地域移行支援事業運営委員会(精神保健福祉審議会)の設置及び開催
- ②地域移行推進会議の設置及び開催
- ③ピアサポートの活用
- ④家庭訪問指導事業
- ⑤自立支援協議会との連携

基本情報

障害保健福祉圏域数(H28年12月末)	5カ所		
市町村数(H28年12月末)	42市町村		
人口(H28年11月末)	2,021,768人		
精神科病院の数(H28年12月末)	14病院		
精神科病床数(H28年12月末)	4,028床		
入院精神障害者数(H27年6月末)	3か月未満: 823人(22.4%)		
	3か月以上1年未満: 526人(14.3%)		
	1年以上: 2,321人(63.2%)		
	うち65歳未満:	1,077人	
	うち65歳以上:	1,244人	
退院率(H28年6月末)	入院後3か月時点: 58.5%		
	入院後6か月時点: 79.0%		
	入院後1年時点: 85.6%		
相談支援事業所数(H28年5月末)	基幹相談支援センター: 3		
	一般相談事業所数: 32		
	特定相談事業所数: 128		
障害福祉サービスの利用状況(H27年度)	地域移行支援サービス: 0人		
	地域定着支援サービス: 4人		
保健所(H28年12月末)	(保健所設置市1カ所含む) 8カ所		
(自立支援)協議会の開催頻度(H28年)	2回/年		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の有無と数	都道府県	無	0カ所
	障害保健福祉圏域	無	0カ所
	市町村	無	0カ所
精神保健福祉審議会(H28年12月末)	0~1回/年、委員数11人		

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）



2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

県保健所

市町村

地域移行
推進会議
(企画会議)

精神障がい者の地域移行の促進等、地域課題を共有し支援体制の協議を行う。

出席者：
精神科病院院長
病院スタッフ
地域活動支援センター
各市精神保健福祉課
警察関係者
教育事務所
精神保健福祉センター

地域移行
推進会議
(担当者会議)

左記の具体的な検討の場。地域課題の共有、支援方法や体制の協議。

出席者：
各市精神保健福祉担当者

地域移行・地域定着
ピアサポート事業

別紙に詳細を記載。ピアサポーターの活用による地域移行・地域定着支援。

関係者：
ピアサポーター
病院スタッフ
相談支援事業所

各市自立支
援協議会

各市町村主催の協議会に参加。事例の相談・検討。

出席者：
各市福祉課
県事務所福祉課
地域生活支援センター

地域関係者の連携・課題や方針の共有

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組む圏域

関係機関の役割		
1 障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	(中濃圏域の場合) 精神障害者地域移行推進会議 (精神障害者地域生活支援広域調整等事業)
	協議の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所管内市町村の精神保健福祉の取組について情報共有 ・ピアサポーターを活用した、「地域移行支援・地域定着支援サポート事業」報告 ・長期入院患者の地域移行支援について事例報告
	協議の結果としての成果	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科医療機関と地域が連携するための研修会を実施 ・「生活困窮者自立支援制度」についての研修会を実施
2 障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	(飛騨圏域の場合) 飛騨圏域精神障害者地域移行推進会議 (精神障害者地域生活支援広域調整等事業)
	協議の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所管内市町村の精神保健福祉の取組について情報共有 ・ピアサポーターを活用した、「地域移行支援・地域定着支援サポート事業」報告
	協議の結果としての成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援センター、精神科病院等との連絡会議の定期開催 (H27年度18回)

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

平成24年

「精神障がい者地域移行
ピアサポート事業」開始
・相談支援事業所におけるピアサポーター
の活用

(実施保健所数1)
ピアサポーター数10人

平成25年

(実施保健所数2)
ピアサポーター数14人

平成26年

(実施保健所数2)
ピアサポーター数13人

平成27年

(実施保健所数2)
ピアサポーター数22人

平成28年

(実施保健所数2)

地域移行推進会議の開催
(保健所)

「岐阜県地域移行支援事業実施要綱」

地域定着(退院後の支援)
の視点を追加

「研修会等」を追加

目的:
病院職員・家族に地域移行の意識づけ

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

特徴(強み)

保健所による地域の特徴を生かした取り組みの推進

1. 精神保健福祉に関わる管内の関係機関の連携が密である。
2. 地域移行支援について、管内関係機関の協力体制がある。
3. 管内にどのような地域資源があるのか把握できている。
4. ピアサポーター育成により他事業へも波及(各研修講師として活躍)

課題

1. 市町村役割の明確化とスキルアップ
2. 地域の社会資源(住まい等)、退院後の生活を疑似体験できる施設の整備
3. 岐阜県では、精神障害者保健福祉手帳1.2級の者は福祉医療により医療費が無料となることから、長期入院者などは入院生活が安心の場となっているため、退院へのアプローチ方法が課題。
4. 当事者のみならず、家族へのアプローチにより退院の理解促進が必要。
5. 対象者の生活機能評価ができていない。
6. 地域移行ケースが増えない。

指標の推移	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1年以上の精神科病院在院患者数(各年6月30日現在)(人)	2,494	2,443	2,330
地域移行支援利用者数(各年度3月末時点)(人)	1	2	0
ピアサポーターの養成者数※(実人数)(人) ※ピアサポーターの養成を目的とした取組を実施している場合	—	—	—
ピアサポーターの活動者数(実人数)(人)	14	13	22

平成28年度の目標と達成状況の方向性(暫定評価)

<目標>

・精神障がい者地域移行・地域定着支援ピアサポート事業の評価を行い、事業の在り方について検討するとともに、拡充を図る。

<達成状況>

・ピアサポート事業を委託する相談事業所と、6月に事業の在り方や改題について検討し、2月には事業拡充に向け圏域の関係機関との検討を行う。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成29年度の取組スケジュール

平成29年度の目標

- ・精神障がい者地域移行・地域定着支援ピアサポート事業の拡充を図る。

時期(月)	実施内容	担当
年6～8回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポート活動 入院患者との交流 入院患者と作業所等の見学 	相談支援事業所 ピアサポーター
年2回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科病棟スタッフ向け研修会 ・患者家族向け研修会 	相談支援事業所 ピアサポーター
年間	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会 ・地域移行推進会議(担当者会議) 	市町村 県保健所
年度末	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行推進会議(企画会議) 	県保健所